

平成 28 年 6 月 29 日

大豆情報 第 1 号

J A む な か た
北 筑 前 普 及 指 導 セ ン タ ー

JAむなかた大豆部会は、5月18日JA本店会議室で、昨年に引き続き「全体研修会」を行いました。研修会では、各地区の部会員が5班に分かれ、排水対策や適期播種等の課題について、個々の部会員の経験に基づく技術や対応策や質問等を出し合いました。研修会で出た意見の一部をご紹介します。

【排水対策】

- ◎弾丸暗渠を徹底的に!!
- ◎「ガクブチ明渠」(25cm幅で、30cmの深さ)で、播種前の表面水を排出



【排水対策、雑草対策】

- ◎播種前の耕うんは、「浅く鋤く」と、雨が降っても乾きやすい

【労力】(隣りの班の声)

水稻の除草剤は、田植同時処理機で散布。浮いた労力を大豆に使うとです。

【雑草対策】

- ◎ホソアオゲイトウにはフルミオがよく効く。初めバケツで溶いてから、100Lに薄めるとよい。

【排水対策】

- ◎本暗渠の真上にサブソイラーを引いてみては?

【適期播種、雑草対策】

- ◎播種したら除草剤散布も同じ日に行う。初期除草剤は必須!!

【適期播種】

- ◎部分浅は雨が降っても出芽が良い
- ◎5時間水に浸からなければ芽は出るバイ!!

研修会の最後に、「部会の申し合わせ事項」として、

- 1 部会の平均収量は、「150kg/10a以上」を目標とする。
- 2 本年の播種は、梅雨明け(平年は7月19日)前に播種を終える。

の2点を重点目標にしました。大豆部会の皆さん一丸となって頑張りましょう !!

大豆栽培では、「適期に播種」することが重要です！「フクユタカ」の播種適期は7月上中旬ですが、この時期は梅雨の半ば～末期に当たり、降ったり止んだりの天候が続きます。平年の梅雨明けは7月19日頃ですので、梅雨明けを待つと、播種適期を逃す恐れがあります。

そこで、できるだけ適期内に播種するため、梅雨の合間を利用して適期に播種しましょう。

速やかに播種するためには、部分浅耕—工程播種を行うか、これから耕起する場合は、播種直前に行うようにしましょう。また、播種直後の冠水による出芽不良を避けるため、排水の良いほ場から順に播種するようにし、大雨が予想される場合は、降雨の1日前には播種を中断してください。冠水した圃場は、できるだけ早い排水をこころがけましょう。

1. 土づくりと施肥

★土づくりと施肥体系の見直しによって、高品質・高収量の大豆づくりをめざしましょう。

★問題点・・・JAむなかた管内の土壌では、カリウムと腐植(有機物)が少なく、硬い傾向。

★対策・・・①堆肥の施用、わらすき込みなどにより、根粒菌の活性化や地力向上を図りましょう。

②PKC30号(30kg/10a)の施用により、リン酸とカリウムの供給に努めましょう。

③地力の低下しているほ場や、遅まきほ場では、窒素を適量含んだ大豆化成550(30kg/10a)を使用して下さい。

2. 播種

	播種時期	条間	株間	10a 当り播種量
早播	7月1日～10日	70cm	25cm	3kg
適期播	7月11日～20日	70cm	20～15cm	4～6kg
遅播	7月21日～31日	70～50cm	11～15cm	6～8kg

★6月下旬には播種の準備をして、7月上旬から天気を見ながら適期播種を行い、できるだけ7月20日頃には播種が終わるようにしましょう。

★播種時期により播種量の調整を行い、遅まきによる減収を軽減しましょう。

また、大粒種子を先に使用しましょう(大粒の方が多湿に適しているため)。

★JAむなかたでは、県内2番目の規模で大豆の採種に取り組んでいます。

カントリーでは、採種ほ場の荷受けを少しでも先に終了させたいと考えています。このため、採種に取り組む地域、個人の方は、必ず採種ほ場を最優先して作業を行って下さい。

※大豆の適期播種には「**部分浅耕播種**」が有効です。

3. 種子消毒

キヒゲン 乾燥種子重量の1%粉衣(種子10kgに薬剤100g)

キヒゲンR-2フロアブル 乾燥種子重量の2%塗沫(種子10kgに薬剤200ml)

4. 雑草防除

	除草剤名	処理時期	使用量／10a	希釈水量 /10a
播種前	ラウンドアップ マックスロート	耕起前又は 出芽前	200～500mℓ	50～100ℓ
	プリグロックスL	播種前又は 植付前	600～1000mℓ	100～150ℓ
土壌 処理	サターン バアロ乳剤	播種後発芽前 (雑草発生前)	600～800mℓ	70～100ℓ
	サターン バアロ粒剤		4～6kg	
	クリア ターン乳剤	播種直後 (雑草発生前)	500～800mℓ	70～100ℓ
	フルミオ®WDG	播種後出芽前 (雑草発生前)	5～10g	100ℓ

◎稲に対する薬害があるので、水田に隣接している場合は飛散に注意して下さい。
クリアターン乳剤は、散布が遅くならないように注意して下さい。

5. ネキリムシ類の防除

夜に幼虫が地表に現れ、大豆幼植物を地表付近で切断します。

[対策]: ネキリエースKを播種時～本葉2葉期に10a 当たり 3kg 土壌表面株元処理します。

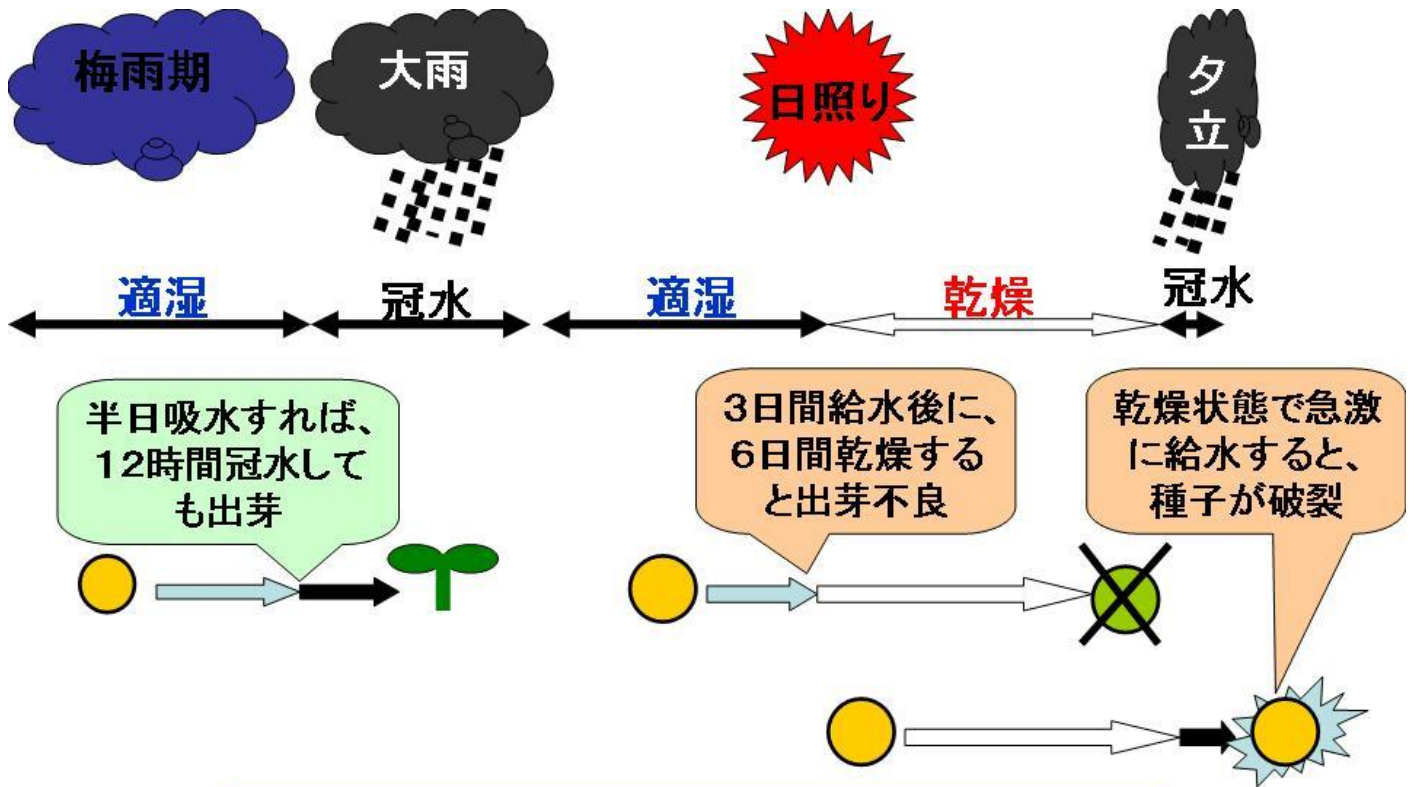
※誘引殺虫剤なので被害が発生してから散布して下さい。

★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース)を洗浄
- ④ 防除履歴の正確な記帳

その他、施肥、生育期除草剤等については、大豆ごよみを参照下さい。

天候と播種対策



大豆の播種は梅雨明け前に終わることが重要

ただし、降雨開始の 前日は播種しない